本種は従来，九州および中国地方から知られていた種であったが，近年，福島県いわき市[2]および宮城県白石市[3]からも記録された種で，対馬以外の地ではいずれも極めて個体数が少ないようである。山土場（標高約400 m）の陽の当たるクリの粗朶上に限って多数の個体が見い出された。また，本種には遺伝的な型[4]として4紋型 f. *samurai* と6紋型 f. *tsushimae* が知られ，それらの出現する割合は，当地においてはほぼ等しいものであった。さらに，当地では少数のムツボシタマムシ *C. succedanea* と混生（ムツボシタマムシの発生時期はツシマムツボシタマムシのそれより遅れる）しており，両者の特徴を兼備えた中間雑種のような個体も1♀得られた。なお，興味あることに，かなり強い降雨中であるにもかかわらずに雨を避けるような様子を示さないことも観察された。

3.　*Agrilus* sp.[1]

1♀，福島県原の町市横川渓谷，16. Ⅵ. 1977

オニグルミの葉のスイーピングで得た。ムネアカナガタマムシ *A. imitans* に似る体長約10 mm の種で，これまでに，初めて記録された福島県福島市土湯[5]の他には神奈川県愛鷹山[6]での記録が知られるだけのようである。

4.　*Agrilus* sp.[2]

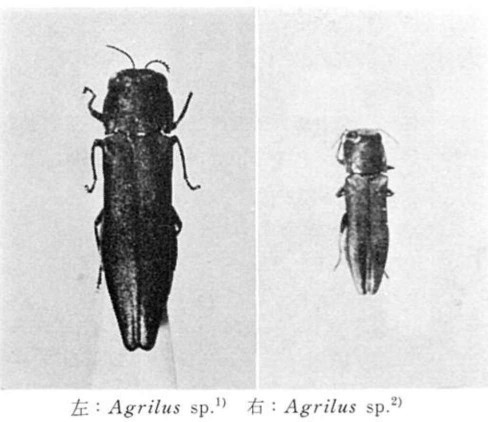
1♀，福島県いわき市江田，15. Ⅶ，1978；1♂2♀♀，福島県原の町市横川赤根林道，16. Ⅶ. 1978

いずれも粗朶（樹種不明）のビーティングで得た。シラケナガタマムシ *A. pilosovittatus* に似る体長約4 mm の小型種で，内側隆線の形および上翅の微毛にその特徴があり，日本ではこれまでに報告のなかった種である。

最後に，常日頃種々のご教示をいただいている黒沢良彦博士，田添京二先生および秋山黄洋氏に深謝する。

〇参考文献

1）　田添京二(1966)：福島生物，**9**（1）
2）　大桃定洋(1976)：ELYTRA，**4**(2)，p.35



左：*Agrilus* sp.[1]　右：*Agrilus* sp.[2]

3）　黒沢良彦(1976)：甲虫ニュース，No.33，p.10
4）　田村隆宏(1977)：ELYTRA，**5**(1)，p.19
5）　田添京二，私信
6）　私山黄洋，私信

（〒300-11 茨城県稲敷郡阿見町荒川沖 953-502）

マルヒラスナゴミムシダマシの石垣島・与那国島の記録

川田　一之

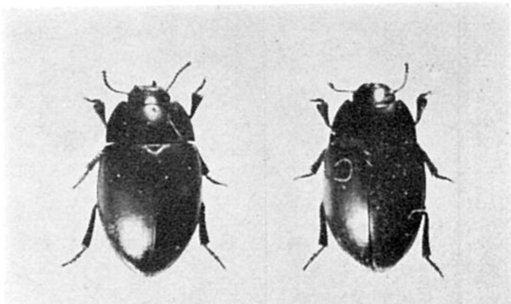
マルヒラスナゴミムシダマシ *Diphyrrhynchus oharensis* NAKANE は従来八重山諸島の西表島からのみ記録されていたが，筆者は石垣島および与那国島で採集された本種を所持しているので報告する。

5 exs.，与那国島比川，18. Ⅲ. 1977，鈴木亙採集

35exs.，石垣島川平，7. Ⅵ. 1977，川田一之採集

石垣島における個体はすべて海浜の砂中から見い出したもので，海浜をもっと調査すれば他の島からの発見も期待がもてそうである。

末筆ながら，本種を同定して下さった中根猛彦博士，日頃お世話になっている近藤茂昭氏，ならびに標本を快くご恵与下さった鈴木亙氏に深謝の意を表したい。



マルヒラスナゴミムシダマシ
（左：与那国島産　右：石垣島産）

〇参考文献

1）　中根猛彦(1969)：日本産ゴミムシダマシ科目録(1)，昆虫と自然，**4**（8）
2）　中根猛彦(1974)：日本のゴミムシダマシ，月刊むし，36号

（〒164 中野区東中野 5-20-13）

南大東島のカミキリ

堤　　隆文

1978年5月9～11日に，沖縄県の南大東島で採集したカミキリ5種を報告する。

1. ツシマムナクボカミキリ
Cephalallus unicolor (GAHAN)
1 ex., 大東神社, 10. Ⅴ. 1978
大東神社で，夜間リュウキュウマツの倒木より採集したものである。他に多数の飛口を確認した。

2. ヒゲナガヒメカミキリ
Ceresium longicorne PIC
22exs., 在所～大東神社, 9～11. Ⅴ. 1978

3. ヤエヤマトラカミキリ
Chlorophorus yayeyamensis KANO
1 ex., 在所, 10. Ⅴ. 1978

4. シモフリナガヒゲカミキリ
Xenoleoa asiatica (PIC)
59exs., 在所～大東神社, 9～11. Ⅴ. 1978

5. アトモンマルケシカミキリ
Exocentrus (Exocentrus) lineatus BATES
10exs., 在所～大東神社, 9～11. Ⅴ. 1978

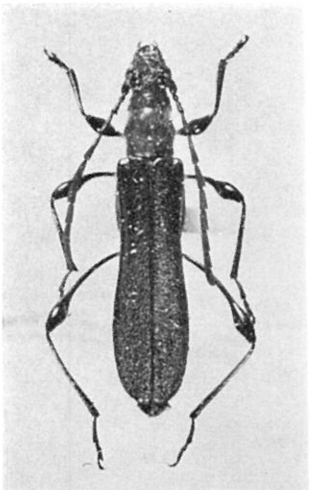
(〠903 那覇市首里当蔵町3-1
琉球大学昆虫学教室内)

クビアカモモブトホソカミキリ台湾の記録

酒井　香

クビアカモモブトホソカミキリ *Kurarua rhopalophoroides* HAYASHI は今まで日本特産種として知られていたが，筆者は下記のとおり台湾産の本種を所蔵しているので報告しておきたい。

1♀, Kenting-Park, Pingtum-Hsien, TAIWAN, 15. Ⅱ. 1972, K. MATSUKI leg.



台湾からは，すでに本属のタイプ種である *K. constrictipennis*, GRESSITT が知られているが，色彩・体型などに大きな相違があり容易に区別できる。また，日本産（奈良県春日山）とは顕著な差は認められなかった。

日本産の本種は，本州では単為生殖[1]，西表島では♂が採集され[2]両性生殖が予想されるなど興味深い話題を提供しているが，台湾産はわずか1♀の記録だけで，どちらとも判断できない状態である。その確認のためには，比較的早い時期（2月頃）の調査が必要であると思われる。

末筆ながら貴重な標本を提供して下さった松木和雄氏に感謝したい。

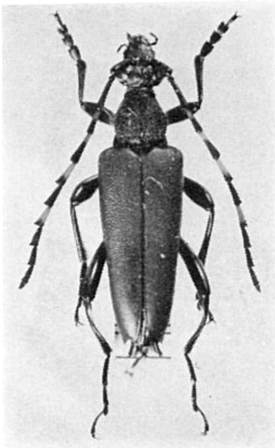
1) GOH, T. (1977): ELYTRA, **5**(1), p.13～16
2) 堤 隆文(1977): ELYTRA, **5**(2), p.46

(〠146 大田区東矢口 2-9-18)

イガブチヒゲハナカミキリの群馬県下における記録

川田　一之

イガブチヒゲハナカミキリ *Anoplodera igai* (TAMANUKI) は本州，四国，九州に分布するが，東日本では稀な種で，特に関東地方からは確実な記録はなかったものと思われるので，群馬県下における採集例を報告しておきたい。



1♂, 群馬県利根郡宝川, 29. Ⅶ. 1978, 川田一之採集

宝川温泉より朝日岳に向って5 kmほど登った所のノリウツギ花上より得た。当地は筆者の母校である東京農業大学第一高等学校の生物部が調査を行なっている地であるが，他の採集例はなく，個体数は少ないもののようである。(〠164 中野区東中野 5-20-13)

鹿児島県佐多岬産カミキリ4種の羽化例

深町　宗通

筆者は1978年1月13～14日にかけて鹿児島県佐多岬を訪れた際，若干のカミキリによって食害を受けている材を持ち帰った。その後，佐賀県小城町において，これらの材より羽化したカミキリのうち，次の4種は記録にとどめておく必要があると思われるので報告しておきたい。

1. オガサワラチャイロカミキリ
Comusia testacea (GRESSITT)
3 exs., 10. Ⅵ～19. Ⅶ. 1978

2. クロモンキイロイエカミキリ
Zoodes japonicus HAYASHI
14 exs., 27. Ⅵ～3. Ⅸ. 1978

3. キイロメダカカミキリ